

ビジネスマン実態調査

全国で独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛けるAカードホテルシステム(東京都千代田区)はこのほど、同社が運営する「Aカード」会員に対し、アンケート調査を実施した。主に30代～50代のビジネスマン1845人に聞いたもので、2009年実施以来、今年で7回目になる。継続調査により、ビジネスマンの出張時での実態の変化が明らかになった。同社の中でも「ターゲット」予算と実額「価格志向」「予約経路」「予約タイミング」について分析している。

「実費精算」約50%・「出張頻度」年間約40泊・「予約」は1週間前
Aカードホテルシステムが調査 2009年からの継続で分析

表1 [ターゲット] プロファイルと宿泊頻度

| | 2009.01 | 2010.01 | 2011.01 | 2012.01 | 2013.01 | 2014.01 | 2015.01 |
|---------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 有効回答者数 | 548人 | 722人 | 910人 | 1,323人 | 1,063人 | 1,353人 | 1,845人 |
| 出張頻度の平均 | 45泊 | 34泊 | 32泊 | 32泊 | 40泊 | 38泊 | 38泊 |
| 最多回答者数 | 30泊程度 65人 | 20泊程度 95人 | 20泊程度 127人 | 20泊程度 179人 | 20泊程度 136人 | 20泊程度 177人 | 10泊程度 195人 |

30～50歳代中心
回答者は速へ900人

同社では2009年から同様の調査を行っており、今回が7回目となる。アンケート回答者は速へ900人。男性が9割、女性1割。年齢層は30～50歳代が約8割を占める。職業は会社員・公務員が約8割。

ポイントとなる6つについて執行役員内藤信也氏が分析をした。

「ターゲット」(表①参照) 出張頻度の平均は、年間40泊前後、つまり、1泊当たり1日、1泊当たり1泊程度と見ると、東京・大阪が1万円～9000円、地方都市は8000円。実際は6500円だった。

「価格志向」(表②参照) 過去7年間で、実費精算が増加し、2015年では、その比率が49%・40%となっている。「定額制方式から実費精算方式に移行するにつれて、宿泊費をできるだけ安く抑えようとするメリットは薄くなる。むしろ『宿泊上限に収まる範囲』では、価格よりもサービスを重視する傾向が強くなると考えられます。」(内藤氏)。

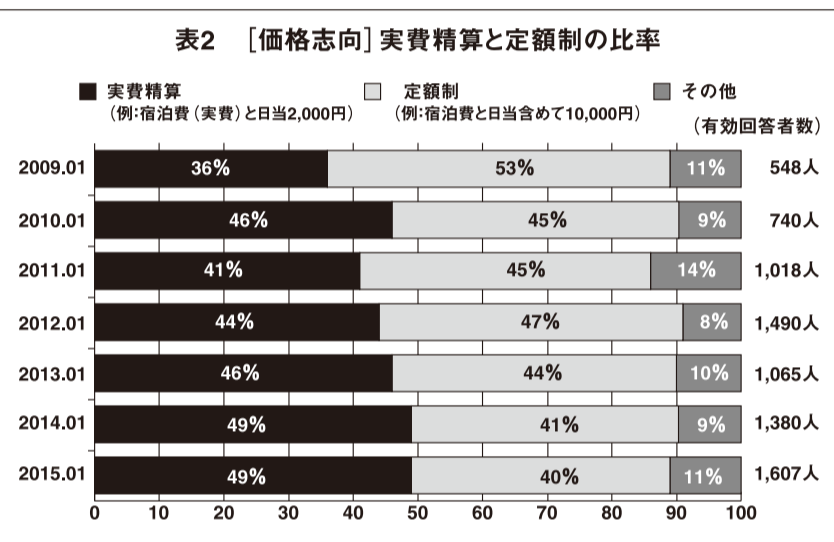
「予算と実額」 1泊当たりの予算と実額の金額を見ると、東京・大阪が1万円～9000円、地方都市は8000円。実際は6500円だった。

「価格志向」(表②参照) 過去7年間で、実費精算が増加し、2015年では、その比率が49%・40%となっている。「定額制方式から実費精算方式に移行するにつれて、宿泊費をできるだけ安く抑えようとするメリットは薄くなる。むしろ『宿泊上限に収まる範囲』では、価格よりもサービスを重視する傾向が強くなると考えられます。」(内藤氏)。



執行役員 内藤信也氏

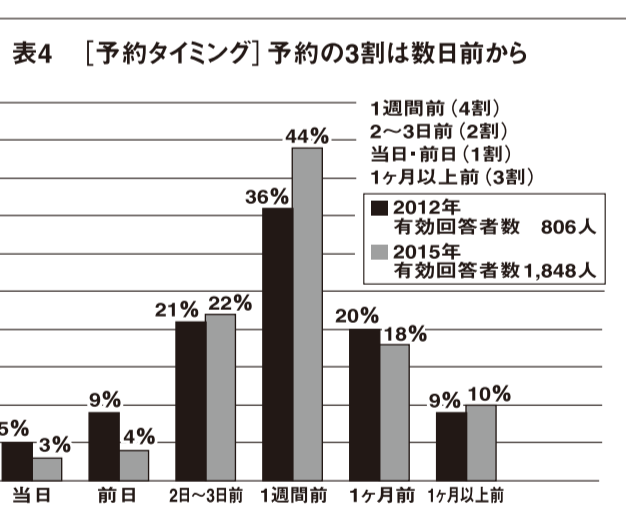
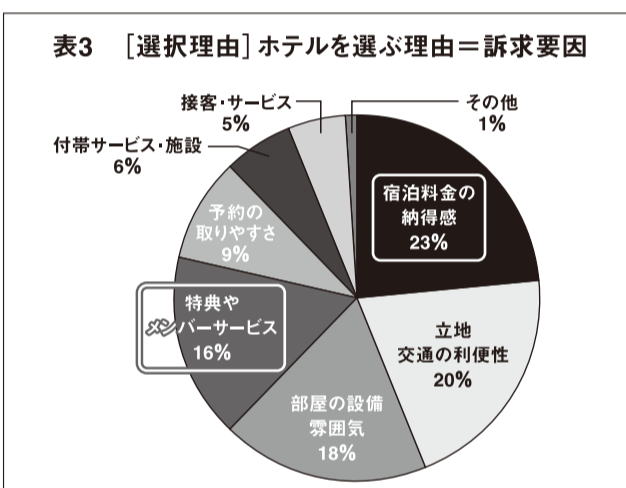
「価格志向」 2015年の調査では、実費精算では7000円まで



「選択理由」 同じホテルをリピート 18%となった。

「予約経路」 ネットエージェン

「予約経路」 ネットエージェン



「第20回Aカードトップ会」約170名が参加



代表取締役 田中章生氏

Aカードホテルシステム(東京都千代田区)では、去る2月17日、東京・中央区にある野村コンファレンスプラザ日本橋にて、「第20回 Aカードトップ会」を開催。全国の加盟店約170名が参加した。当日は、「2014年度年間優秀加盟ホテル表彰式」、「アンケート集計結果の発表」のほか、コ

「2014年度年間優秀加盟ホテル」はみずさわ北ホテル(岩手県奥州市)がトップを獲得。次いでスマイルホテル函館(北海道函館市)、3位がスマイルホテル長野(長野県長野市)と

個人では、1室当たりの会員獲得数トップが、みずさわ北ホテルの加藤幸巳氏、伊藤正臣氏、年間新規獲得数はスマイルホテル函館の対馬源太氏が表彰された。

Aカード加盟店は現在、ホテル・レストラン合わせて461軒。参加後稼働率が45%アップするケースも多く、今後積極的に独立系ホテルの加盟を促すと共に、会員獲得にも力を入れていきたいという。



全国から170名以上が参加した

独立系ホテルを中心としたポイントカード。ポイント還元が現金で行われることが大きな特徴。会員数は約55万人。主な利用者は30代～50代のビジネスパーソンで、特に出張の多いビジネスマンを中心に評価は高い。今年も、アイフォアプリのリニューアルのほか、アンドロイドアプリを新たにリリース。一般広告の掲載の強化等を予定しているという。